

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	科目別合計	*1	実質 勉強時間
FAR	56	45	52	58	54	38	17	23	49	59	59	17									527		527
AUD			21	7		28	34	23				60	115	85	82	37	18				510		510
BEC	8	31	8	6	4								19	61	52	99	113	98	8		507	-17	490
REG		4																35	114	146	299	-45	254
月別合計	64	80	81	71	58	66	51	46	49	59	59	77	134	146	134	136	131	133	122	146	1843		1781
コメント	<p>*1 受験後結果発表までの勉強分</p> <p>2019年3月にFAR,AUD,BECの出願（有効期限6ヵ月）をしたが、勉強時間が確保できず、どの科目も中途半端になり、受験できなかった。 →FARに専念し、AUD,BECは翌年に勉強再開するころには完全に忘れていた。（時間がもったいなかった。）</p> <p>2020年4月5月はコロナの影響により、受験不可となった。 →AUDを再受験する予定だったが、6月まで延びてしまい、知識の維持とBECの両立が大変だった。（すぐに受験できていれば時間短縮できたかも） うまくやれば、1500時間程度で合格できる見込みはあった。</p>																						
受験スケジュール	<p>1月 FAR受験 Pass</p> <p>3月 AUD受験 Fail score 71</p> <p>6月 AUD受験 Pass</p> <p>6月 BEC受験 Fail score 70</p> <p>7月 BEC受験 Pass</p> <p>9月 REG受験 Pass</p>																						
英語力について	<p>・資格の予備校ではTOEIC400点から目指せるとあるがいばらの道</p> <p>理由① 日々の勉強効率が悪い</p> <p>リーディングが弱いとインプット及びアウトプットに圧倒的に時間を要する →復習に時間がかかり、どんどん忘れていく</p> <p>理由② 試験で圧倒的不利</p> <p>試験時間が各科目4時間であり、英文慣れしていないとかなりしんどい（単純にTOEICの倍） 問題文及び回答候補内にわからない動詞があると詰む</p>																						
USCPA試験概要	<p>・全四科目の合格が必要</p> <p>・科目別受験が可能</p> <p>・各科目合格後18ヵ月で合格状態が失効される。最初の合格から18ヵ月以内に全科目合格が必要。</p> <p>・出願は州別に行い、学歴など必要要件が州ごとに異なる。目安は4大卒でビジネスと会計関係の単位を一定以上とっていること。</p> <p>・年間を通して、好きなタイミングで受験できる。（受験後は結果が出るまでは再受験できない）</p>																						
USCPA試験受験者の実態	<p>・大多数の受験者は、USの会計系大学院生及び監査法人勤務者。</p> <p>・合格率が各科目50%程度とされているが、上記受験者が前提のため、基本的に難関試験。</p> <p>・日本人受験者の合格率は各科目30%前後。全科目合格者は受験経験者の20~30%。*そもそも最初の科目を受験できない人も多い</p> <p>・予備校で知り合った人など5人中、受験までたどりついたのは2人</p> <p>・受験科目の順番は自由だが、FAR→AUD or BEC →REGが各予備校推奨している。</p> <p>・FARは比較的計算問題が多いため、英語難易度は比較的低いが、AUDとBECは英語難易度が跳ね上がるため、ここで詰む受験生も多い</p> <p>・日本人受験者で合格しやすいスペックは、日本の公認会計士もしくはTOEIC900以上の英語力保有者。（だいたい1000時間前後で合格している人が多い）</p> <p>・日本人受験者でドロップアウトしやすいスペックは、日商簿記2級、TOEIC800未満。（勉強時間が1500時間以上必要）*私見</p> <p>・受験料が高額なため、ビビって受験できずに諦める人多数（受験料は後述）</p> <p>・日本人が合格するまでの平均受験回数は9回超らしい</p>																						
簿記知識について	<p>・あると良いが、英語力に比べれば微々たるもの</p> <p>・FAR全般とBEC(原価計算)、AUD（修正仕分け）が主に関係しているが、それ以外の部分は簿記と関係性が薄い</p>																						
予備校について	<p>・彼らの収益は入校者を増やすことにあり、合格者数は付加価値を上げる意味で重要なため、安易な言葉を鵜呑みにすると痛い目に合う</p> <p>・費用はP社が約25万、A社とT社が約60万 *学歴の単位不足の場合、追加費用が発生する可能性あり</p> <p>・もう一回受験するならT社を選んでた。質が最も良い！</p>																						
受験費用	<p>・出願手数料 \$150~250 *州による</p> <p>・試験料 \$210 *しばしば変更される</p> <p>・日本会場手数料 \$350 *しばしば変更される</p> <p>トータル1科目あたり約7万円前後</p>																						

